

選挙について

□調査期間 平成27年10月8日～平成27年10月18日

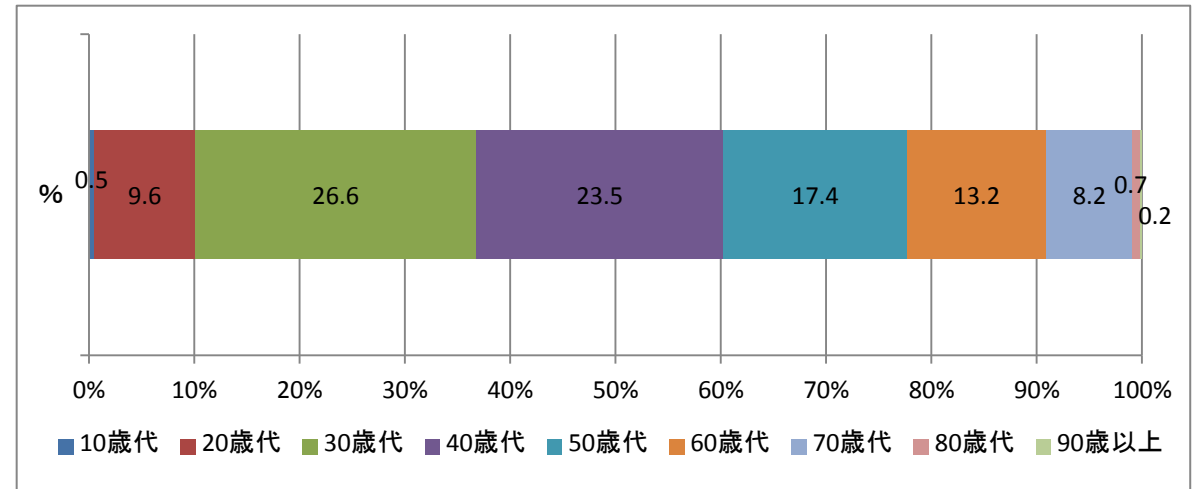
□調査の趣旨 選挙に関する市民の方の考え・意識等について調査を実施します。

□対象者数 425 人(平成27年10月8日現在)

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

□対象者年齢

内訳	人数	%
10歳代	2	0.5
20歳代	41	9.6
30歳代	113	26.6
40歳代	100	23.5
50歳代	74	17.4
60歳代	56	13.2
70歳代	35	8.2
80歳代	3	0.7
90歳以上	1	0.2
合計	425	99.9



□回答者数 317 人(平成27年10月18日時点)

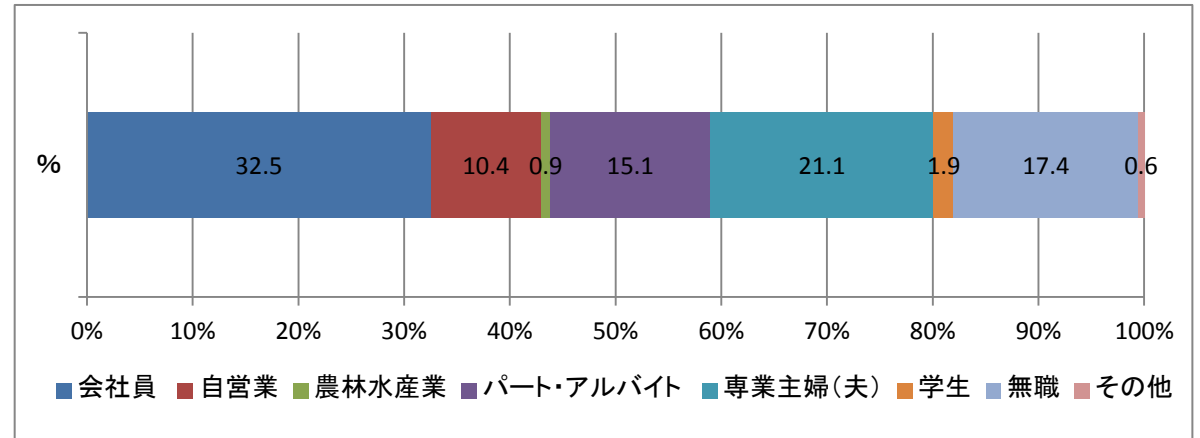
□回答率 74.6 %

【ご職業】

内訳	人数	%
会社員	103	32.5
自営業	33	10.4
農林水産業	3	0.9
パート・アルバイト	48	15.1
専業主婦(夫)	67	21.1
学生	6	1.9
無職	55	17.4
その他	2	0.6
合計	317	99.9

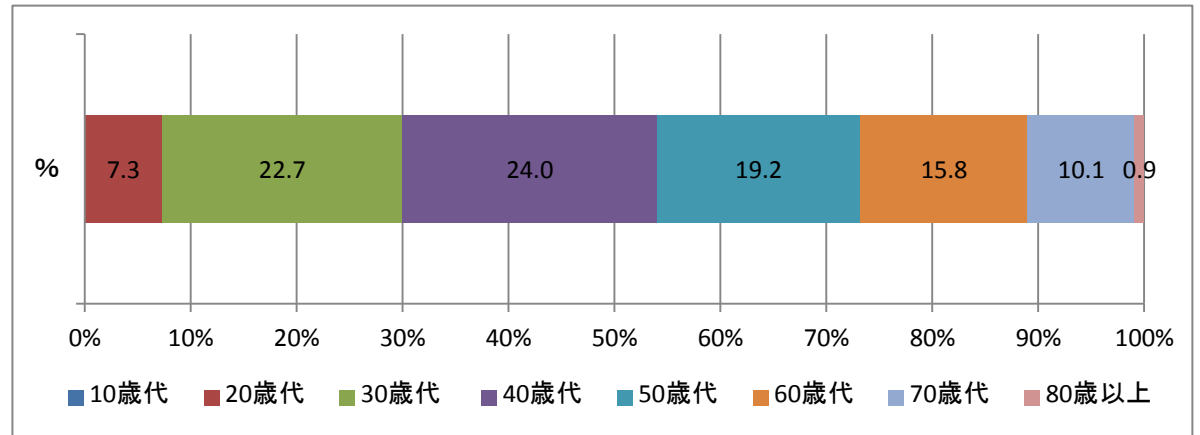
その他のご職業

- ・NPO団体理事
- ・団体職業



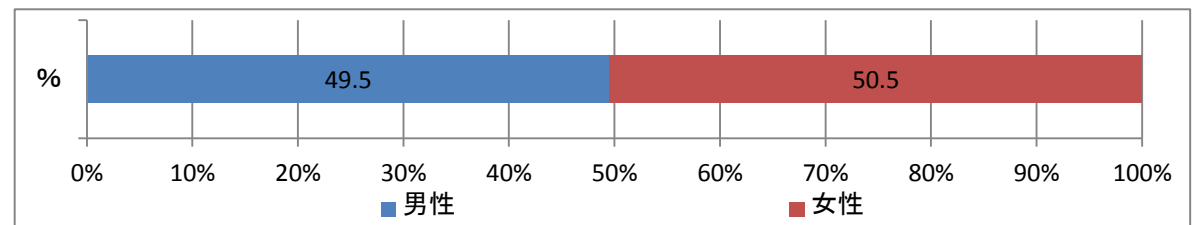
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	23	7.3
30歳代	72	22.7
40歳代	76	24.0
50歳代	61	19.2
60歳代	50	15.8
70歳代	32	10.1
80歳以上	3	0.9
合計	317	100.0



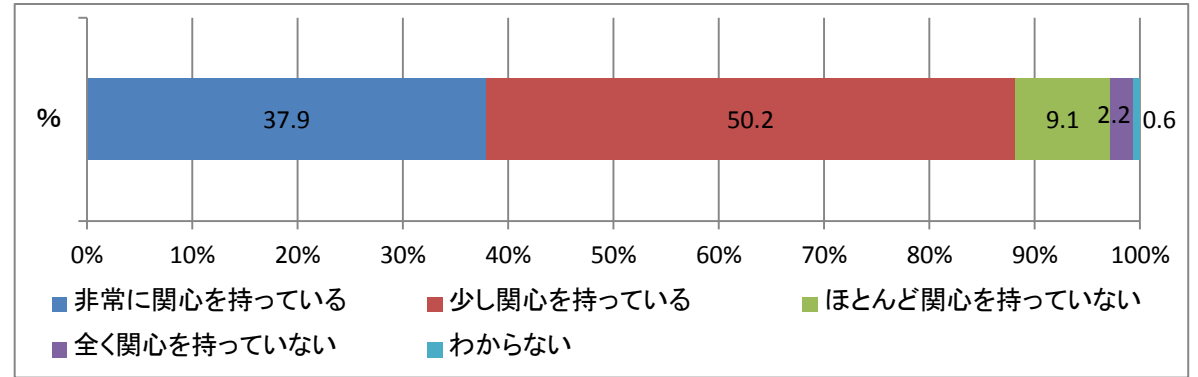
【性別】

内訳	人数	%
男性	157	49.5
女性	160	50.5
合計	317	100.0



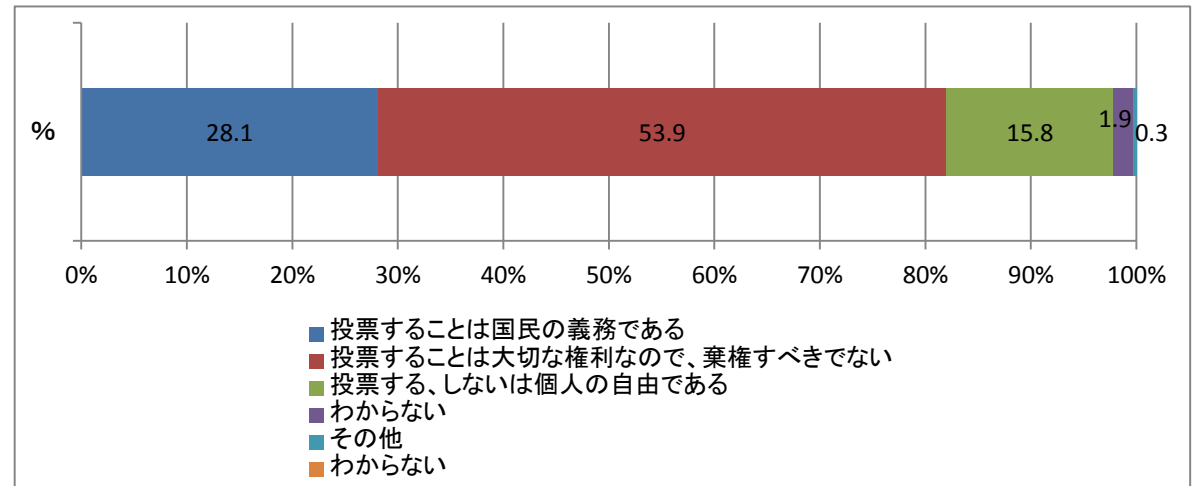
問1 国や地方の政治について、どの程度関心を持っていますか。

回答	人数	%
非常に関心を持っている	120	37.9
少し関心を持っている	159	50.2
ほとんど関心を持っていない	29	9.1
全く関心を持っていない	7	2.2
わからない	2	0.6
合計	317	100.0



問2 選挙での投票について、どのように思いますか。

回答	人数	%
投票することは国民の義務である	89	28.1
投票することは大切な権利なので、棄権すべきでない	171	53.9
投票する、しないは個人の自由である	50	15.8
わからない	6	1.9
その他	1	0.3
わからない	0	0.0
合計	317	100.0

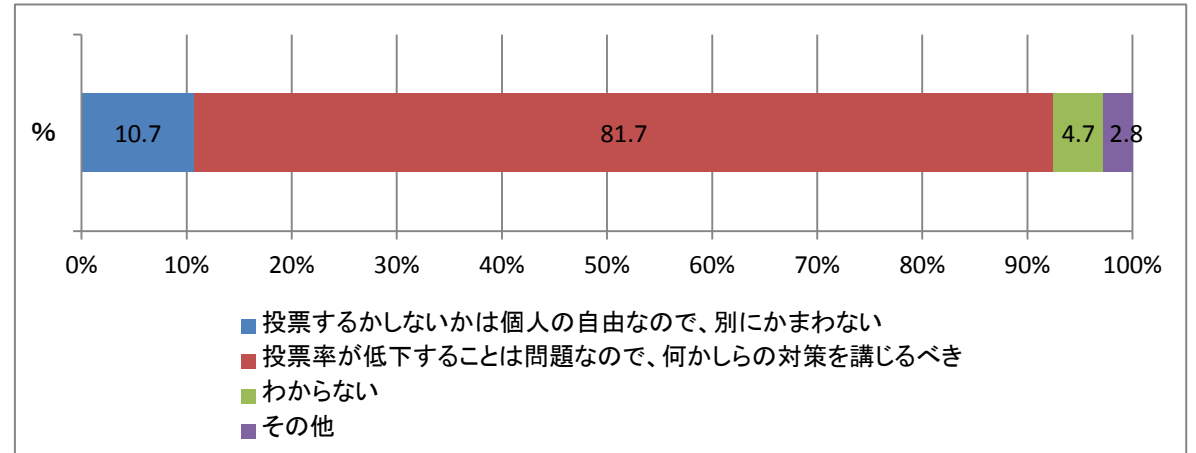


問2-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(任意回答)

・国民の義務であり権利ですが、誰とも考えがピッタリ合わない時もある。そんな時は、無理に投票しなくてもいいと思います。

問3 最近の選挙では、投票率が低下傾向にあります。このことについてどう思いますか。

回答	人数	%
投票するかしないかは個人の自由なので、別にかまわない	34	10.7
投票率が低下することは問題なので、何かしらの対策を講じるべき	259	81.7
わからない	15	4.7
その他	9	2.8
合計	317	99.9

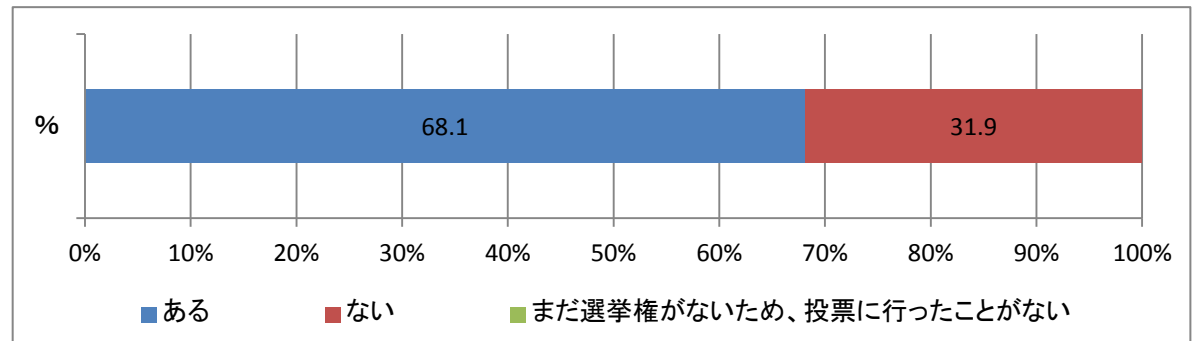


問3-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(任意回答)

- ・投票しがいのある政治家がいなくて選挙が虚しい。
- ・テレビ、特にNHKやラジオネット等を利用して露出度を高めるべき。
- ・投票する意義を感じられる政治であってほしい。
- ・投票したい人がいない。立候補した人みんな同じ考え。
- ・政治家の悪態などが報道され、国に対する信頼感がない。
- ・駐車場問題で期日前投票がしづらい。大手スーパーなどのスペースを借りて投票しやすい場を作るべき。
- ・投票しないことも一つの意思表示である。即ち、自分の考えに適した候補者がいないという意志表示である。従って、一定率以下の場合には、その選挙を無効にして、無投票者の意見に合った候補者を追加し、再度選挙をやり直す制度を作るべきと考えます。
- ・政治家に魅力がないのでは...。(国会議員、地方議員さんに)地域のこと、国の利益を考えて選挙に出られているのかが伺えない。自分の利益や権力を得たいが為の候補者が多くなったのではないかと思います。

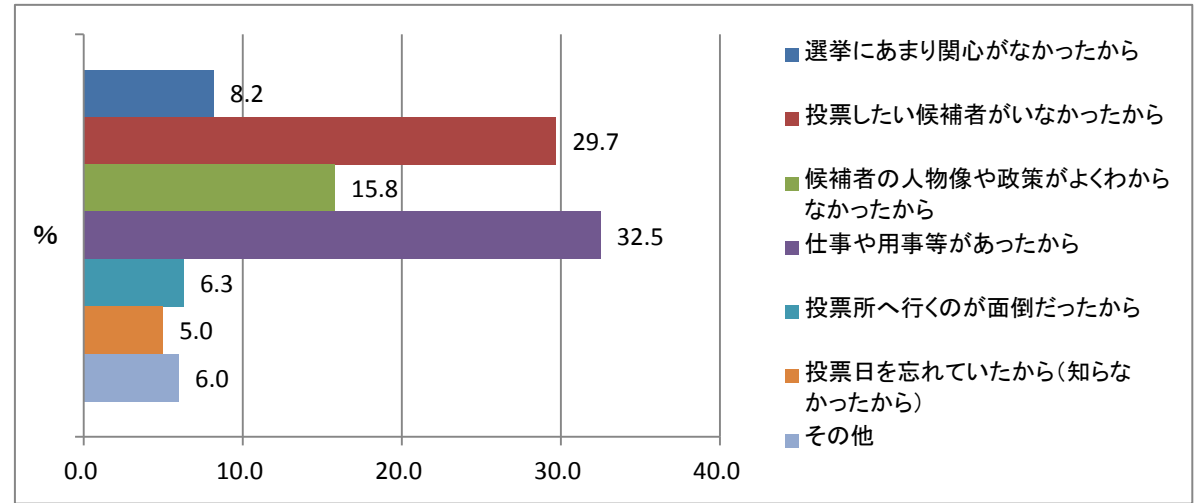
問4 今まで行われた選挙で、投票に行かなかったことはありますか。

回答	人数	%
ある	216	68.1
ない	101	31.9
まだ選挙権がないため、投票に行ったことがない	0	0.0
合計	317	100.0



問4-1 「ある」と回答された方にお聞きます。投票へ行かなかった理由は何ですか。(任意回答、複数回答可) (n=216)

回答	人数	%
選挙にあまり関心がなかったから	26	8.2
投票したい候補者がいなかったから	94	29.7
候補者の人物像や政策がよくわからなかったから	50	15.8
仕事や用事等があったから	103	32.5
投票所へ行くのが面倒だったから	20	6.3
投票日を忘れていたから(知らなかったから)	16	5.0
その他	19	6.0

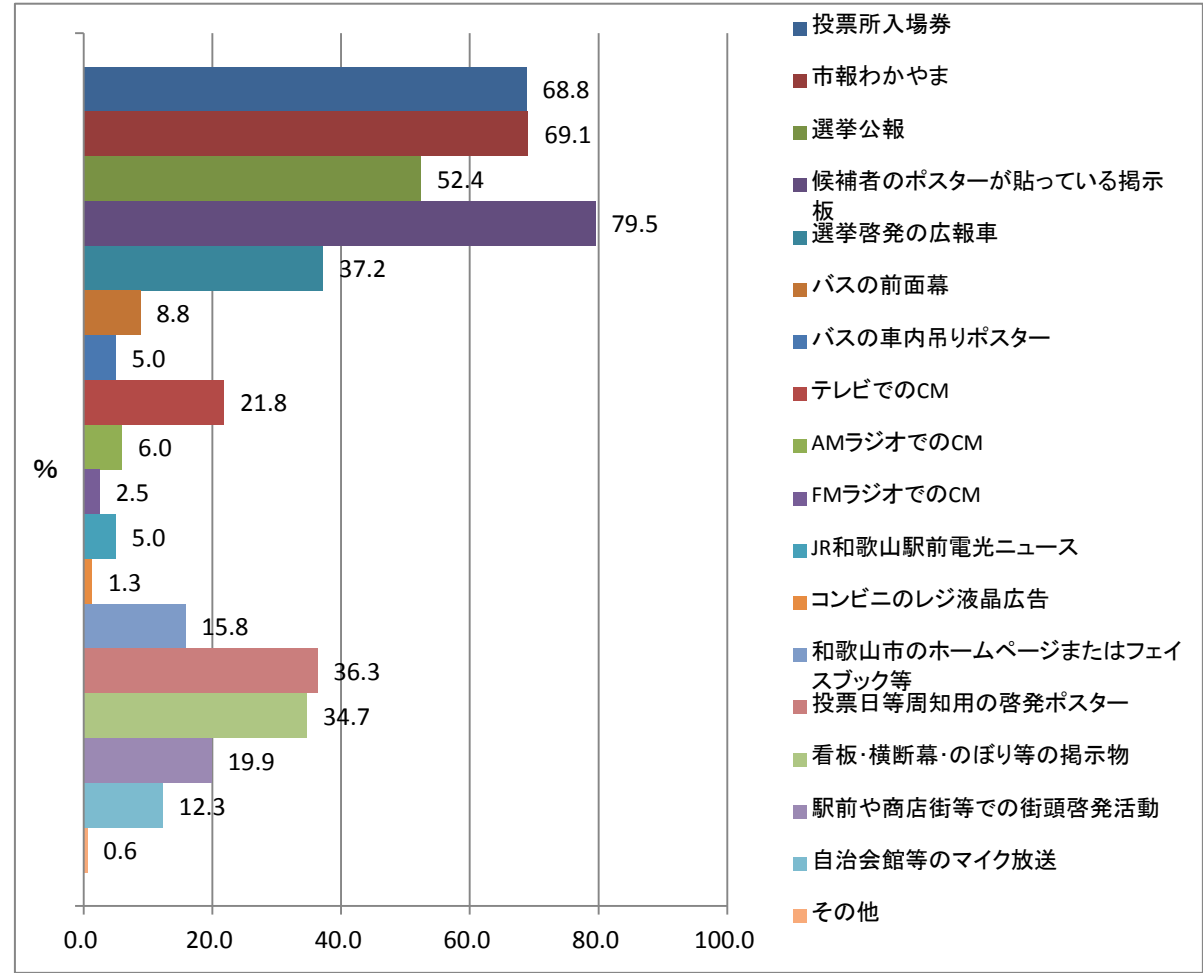


問4-1-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(任意回答)

- ・出産で入院中のため。
- ・大荒れの天気だったため。
- ・当日体調不良のため。
- ・結果があまりにも予想できたから。
- ・住民票のある町から離れたところに滞在していたため。
- ・引っ越ししてすぐだったので、選挙権がなかった。
- ・移転先の投票所の場所がわからなかった。
- ・住民票の所在地に住んでいなかったから。
- ・下宿先に住民票を移していなかったから。
- ・投票しても政治は変わらないと思っているから。
- ・投票したい人物が、おそらく当選するだろうという状況だったので。
- ・体調不良で1回、悪天候で1回。車で行けない場所なので諦めました。
- ・不在者投票も行えないくらい長期で海外や県外にいて、投票できなかったから。
- ・当日、体調が悪くなった時。その他、ほとんど、どう見ても決まりきっている場合。競り合っている時は必ず行く。
- ・会場の場所がわからず、間違った場所に行ってしまった。市内であればどの投票所でも良いと思っていた。
- ・学生・独身時代など、住民票を移さずに県外に下宿していた時など、投票用紙が実家に届いても、高い交通費・時間をかけて選挙の為に帰省できないから。
- ・体調が悪く行けなかった。その他、天候が悪かったので(暴風雨警報で)動けなかったが解除され、ギリギリ間に合ったけれど、この時は非常に危険だと思った。

問5 和歌山市選挙管理委員会は、選挙時に各種啓発事業を通じて、投票日の案内やお知らせをし、投票参加を呼びかけていますが、あなたが見たり、聞いたりしたものをすべて選んでください。(複数回答可)

回答	人数	%
投票所入場券	218	68.8
市報わかやま	219	69.1
選挙公報	166	52.4
候補者のポスターが貼っている掲示板	252	79.5
選挙啓発の広報車	118	37.2
バスの前面幕	28	8.8
バスの車内吊りポスター	16	5.0
テレビでのCM	69	21.8
AMラジオでのCM	19	6.0
FMラジオでのCM	8	2.5
JR和歌山駅前電光ニュース	16	5.0
コンビニのレジ液晶広告	4	1.3
和歌山市のホームページまたはフェイスブック等	50	15.8
投票日等周知用の啓発ポスター	115	36.3
看板・横断幕・のぼり等の掲示物	110	34.7
駅前や商店街等での街頭啓発活動	63	19.9
自治会館等のマイク放送	39	12.3
その他	2	0.6

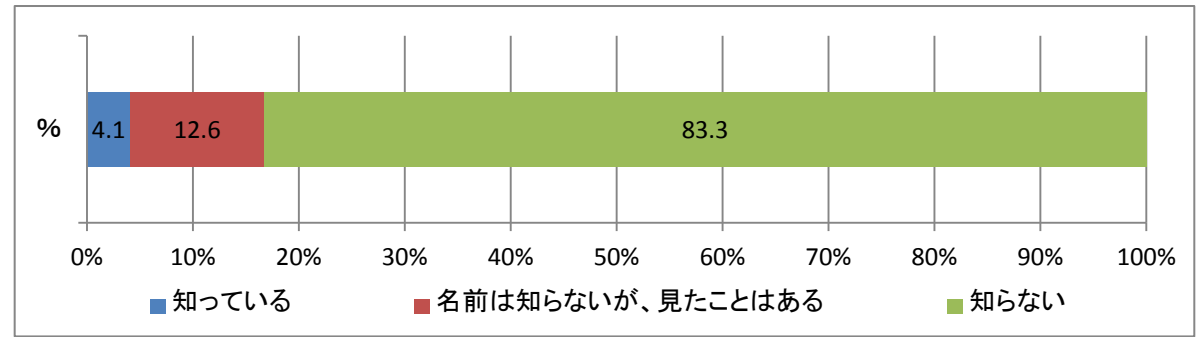


問5-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(任意回答)

・SNS(ツイッターやフェイスブック等)での情報交換。
 ・どれも見たことがない。

問6 明るい選挙推進運動のイメージキャラクター「選挙のめいすい(明推)くん」を知っていますか。

回答	人数	%
知っている	13	4.1
名前は知らないが、見たことはある	40	12.6
知らない	264	83.3
合計	317	100.0



問7 選挙について、ご意見等ございましたらご記入ください。(この設問は任意回答です。)

- ・インターネットでの投票しかない。
- ・期日前投票を郵送でできるようにしてほしい。
- ・選挙権を与えられたら、投票はするべきである。
- ・若者にも投票しやすい場を作って下さい。
- ・18歳の方たちへの選挙の対応がいると思う。
- ・難しい。もっと簡単に政策を教えてほしい。
- ・投票に何回か行かなければペナルティを課す。
- ・期日前投票制度は、とてもいいことです。
- ・選挙はよほどの支障がない限り投票に行くべき。
- ・和歌山市を改革できる候補者の登場を期待している。
- ・期日前投票のしやすさを工夫すべき。
- ・理想でなく実現できる政策を掲げてほしい。
- ・安易に棄権せず、よく考えて投票へ。
- ・不在者投票でもして必ず行く。
- ・期日前投票のできる場所を増やしてほしいです。
- ・選挙は大切なので、早急に何らかの対策をしてほしい。
- ・平日に投票に行けるところをもっと増やしてほしい。
- ・期日前投票が出来るようになって投票しやすくなった。
- ・選挙自体に興味が無いので一度も行った事がありません。
- ・立候補者の争点の違いをわかりやすくすれば、投票率も上がると思う。
- ・市、県の職員は本当に真摯にアンケートの回答を受け止めていますか？
- ・選挙年齢が18歳になったが、全体の投票率が今より下がると思う。
- ・正しい選挙と言うより、癒着しかない。レベルが低い県民性が嫌になります。
- ・極論をいえば、選挙権を誰にでも渡していることに、投票率の低下があると思う。
- ・18歳投票賛成。不在者投票場所の拡大。スーパーでも期間中できるようにする。
- ・18歳からの選挙権が始まるから、国民として各種選挙に関心を持つのが当然です。
- ・特に若い人の投票率が低いと思われるが、今後18歳以上となると学校での教育、啓蒙が大事と思われます。
- ・ライフスタイルが多様化している中で、またIT化が進んでいる割には、その部分が遅れている気がします。
- ・もう少し候補者が何をしたいのか見れるサイトや広報誌が必要と思う。人数が多いと判断に困ることもある。
- ・違法な場所へのポスター貼り等を取り締まり、公平な選挙活動推進を。
- ・選挙に行って、はじめて自分の意思が政治に反映されるということ、今回の安保法案で実感した。
- ・18歳からの選挙権付与は反対です。全てではないが投票資質に欠ける人数の割合が多すぎる。
- ・投票率が低いのは、その市・県・議員に魅力も無く、市役所、県庁の職員の怠慢だと思います。

- ・インターネット投票を開放したらいいと思う。和歌山市が全国に先駆けてリードできればいいのと思う。
- ・他の自治体のようにイオンやイズミヤ等、投票しやすい場所で期日前投票ができるようにしてほしい。
- ・国勢調査もパソコンで出来るようになりました。選挙もパソコンで投票出来るよう検討をお願いしたい。
- ・選挙のPRのためにお金をかけすぎているのでは？インターネットを利用した方法等のITを駆使しては？
- ・子供がまだ乳児なので選挙に行くことが大変。ドライブスルーのように車を降りずに投票できないのか。
- ・最近は関心を持ってきました。安倍さんの安保法案の強行採決の姿に反感を覚えます。投票は必ず行きます。
- ・テレビやラジオでしっかり呼びかけること。町内放送もいいと思います。
- ・事情によって選挙に参加できない時もあるので、地域ごととか、時間帯とかを廃止して、もっと違った選挙のやり方を考えてほしい。
- ・昭和25年以降時代が変わってきているにもかかわらず、選挙の仕方、態様が変わっていない。アナログすぎる。もっとデジタル化を用いるべき。
- ・指定された場所で投票するという手法は変えるべき。市内在住で市内に買い物等に行く途中、最寄の投票場所で投票できるようにした方が良くと思う。
- ・和歌山県、和歌山市は立候補者が少なく、あまり変わりばえせず、選択肢が少ないです。我こそは、という方を応援出来れば良いですね。
- ・インターネット投票できるようにしてほしい。投票所がとても混んでいて、妊婦で上の子供を抱いて並ぶのはつらかった。しかも、駐車場が少ないとかの問題も改善すべき。
- ・和歌山県、市ともに選択肢がない。一般的に保守は嫌いなのだが、わざわざ死票を投ずるのも無駄だと思う。せめて衆議院選挙みたいに。
- ・国政選挙は小選挙区制度を見直すべき。自治法と無関係に全国の範たる市議会議員の大幅削減を試みてはいかがか。もっと競争原理を導入しろと言いたい。
- ・投票したい人がいない場合には、適当に投票するのは無責任な行為で、その様な時には棄権するしかありません。もしくは無効投票をするしかありません。
- ・若い議員が立候補すべき。本当に和歌山を良くしようと考える人が必要だと思う。老人中心に物事を考えていては、若い世代による少子化問題は解決しない。
- ・選挙は先人が血と涙の末に勝ち得た権利である。その権利を行使する一部の人の利益となるような結果とならないよう、全有権者の投票を目指し、市は対策を講じてほしい。
- ・投票に行ってる人は、偏っていると思う。投票に行ってる人達のための政治になっていると思う。投票には行くべきだと思うので、強制でも良いくらいだと思う。
- ・候補者に関する情報をより詳しく、また早い時点で発表し、電子媒体にて閲覧できるようにしてほしい。投票の利便性向上を検討してほしい。場所、時間、期日前投票についても同様。
- ・選挙日当日、立会人は主に役所に関係する人が多いが、もっと広く一般の人でも立会人であっても良いのではないか。自治会の推薦人、地元の人権委員はダメ。役に立たない。
- ・中学や高校で模擬選挙みたいに、選挙の仕方、選挙をすることで何が変わるかが実際に実感でき、身近に感じる事のできる機会を与えることができれば、若い人にとっても選挙が身近になるのではないのでしょうか。
- ・前回の政策の検証結果、過去の実績と政策との対照表があると、自分達の期待している人が誰なのか判断できる。届け時に立候補者に出してもらっても良いのでは。言うだけで、信用できないので、投票のモチベーションが湧かない人も多いと思います。
- ・若い世代があまりにも選挙に関心がなさすぎます。また、行っても変わらない、誰を入れても変わらない等、選挙に行かない場合は何らかの罰則をするか他の方法を取り入れればと思います。せめて、投票率が80%ぐらいになってほしいと思います。
- ・街宣活動はいいと思うが、「言論の自由」、「表現の自由」、「思想・良心の自由」が憲法で認められていたり、「暴騒音の規制に関する条例」で定められている範囲とは言え、街宣車は迷惑でしかない。住民は騒音の迷惑をかけられているのに、候補者の公約や政策が耳に入るはずもない。だから今後も投票する事はありません。
- ・なんでもゆるキャラに頼るのは子供騙し。キャラも手抜き過ぎてひどい。「選挙に行こう」という啓発は十分行っていると思うが、選挙に行く目的の発信が必要。今回の選挙はなぜ必要で行かないとどうなるのか、自分達の問題であるということを認識させる必要がある。若い世代は選挙というか、政治に興味がないし諦めている。老人と既得権益の世界にしか見えない。せめて40代くらいまでが中心にならないと興味も希望も持てない。現実的にできそうなのは、若手による選挙PRや解説だろうか。若手に頑張ってもらいたい。
- ・選挙管理委員会が悪いのではなくて、選挙に出る被選挙人側かなぜか盛り上がり欠ける。無投票で市長が決まるとか大変嘆かわしいが、若い方には政治に時間を掛ける余力がないのではないかと思います。
- ・選挙権がある人に、投票ポイントを。ポイントが溜まれば何かと交換や、買い物割引券が貰える等、特典制度を導入するとすれば投票率がアップするかなと思いました。無理かなとは思いますが...。意見として書きました。
- ・選挙公報がどうしたら手に入るのか、未だに知りません。新聞に折り込みで入るなら、新聞を取っていない我が家では入手できません。PDFファイルで公開されているのを見つけましたが、ファイルが重いのか正しく表示されず、全てを見ることができませんでした。
- ・選挙制度の改革、もっと金のかからない制度を考えるべき。政治家になるにはかなりの資産を持つていなければならぬ。供託金を払えば誰でも立候補できる制度にすればいい。政党助成金を減らして、国や地方自治体が選挙をする制度にすること。
- ・時間に余裕のある人は投票に行くが、若い人は時間も関心も無く、率が低い。結果として選挙結果を歪めてしまう。大阪市の都構想の投票結果が例として上げられる。マイナンバーを利用して、インターネット選挙を採用出来ないか。
- ・候補者を選んで投票することによって国勢に自分も参加しているのだという意識が国民一人一人に芽生えれば、選挙の投票率も自然と上がると思う。時間はかかるかもしれないが自分自身も政治に携わっているのだという意識が大事。あとメディアで政治家をエンターテイナーのように扱うのも良くない。良きにしる悪きにしる、国民の代表で選ばれているので、質問するマスメディアも質問内容を考えてワイドショーのような質問はやめてほしい。政治家と言っても人間で完璧ではないので、何でも包み隠さず報道するというのは正義という言葉のはきちがいだと思う。政治が悪いと声を上げる前に、選挙へ行くのが当たり前だという風潮が大事。政治が悪いから行かないという意思よりも、悪い政治家を落としてもっと良い人が当選するというように、社会の流れを創れば、投票率も自然と上がると思う。

- ・選挙に行っていたための様々な活動の大半が無駄。税金の無駄遣いだと思います。現に、さっぱり効果が上がっていないのだから、即座に止めていただきたいことだらけです。投票率の低下、特に若者層の投票率の低さは非常に問題であります。しかし、小手先の姑息なテクニックでどうにかなる問題とは思えないので、市民全体で抜本的に検討するべきである重要課題だと思います。
- ・議員の資質に問題があっても、それなりに行政側の職員とうまくやっていると感じています。対立する事はありませんが、もっと透明性を。モラルハラスメント、セクシャルハラメント、不倫、政務活動費の不透明な使途など、人の道に外れた行動をしている人は、どんどん表に出して知らせると良いと思います。議員の不行状は、マスコミに出てからだと余計恥ずかしいと思います。
- ・人数ばかりあるけど何をしているのか全くわからない政治家しかいない。選挙によく行く年寄の機嫌ばかり取る感じ。大阪市長のような革命的な人(口だけでなく本当にやる人)が出れば選挙に関心もです。私も口だけですが・・・。
- ・地方選挙だからと言っても、利益誘導などを宣伝せずに、議員定数をどうすれば減らせるか？や、納税する地方税を減額するには？等の具体案で勝負をしてほしい。名前の連呼だけをするような候補はごめんです。
- ・選挙の度に投票率の低さが気になります。せめて常に50%以上はあるような投票率にしないとイケないと常に思います。インターネットでの投票など、特に若年層の低さが気になります。
- ・選挙カーをなんとかしてほしい。毎日毎日大声で迷惑だし、あんな騒音を撒き散らされて、投票しようなんて思えるわけがない。少なくとも、もし投票に行っても、選挙カーで聞き覚えのある名前は絶対に書かない。
- ・民主主義を機能させるための最も重要な権利は選挙権である。選挙権は権利であり決して義務ではない。義務とするから嫌になる人が出てくる。小さい頃から民主主義教育を充実し、選挙はそのための重要な権利であるという事を頭に叩き込む以外に、道はないと思う。
- ・2014年3月まで大阪府に居住していました。和歌山市に転居し、和歌山の選挙投票率の低さには正直驚きましたし、関心のなさも気になります。但し、同一人物とは限りませんが、批判の意見は多いと思いますが、批判だけの感じがします。何をしても原資と、投資回収を考えないと事業は成り立ちません。
- ・私のひがみか？投票したいが推挙したい候補者が現れないのが残念である。選挙前のみ頭を垂れて頼み込むだけ。当選すればこれ見よがしに胸をそらす御仁に呆れるばかり。真の住民代表者よ何処に。
- ・昔は選挙をするのに税金が多い人が投票できた。行かない人は、何らかのペナルティーを科すべき。権利と自由をはき違えている。次善の策を講じるべきだ。今の状態なら30%に落ちるだろう。
- ・白バラ講座は選挙の話。インターネットで投票できたら若い人の意見が反映されると思う。また高齢者の意見も、孫や子供が、祖父母や親と話し合う良い機会とるため、コミュニケーションを取る機会も増え、色々問題もあるが、良い所もあると思う。
- ・地区によって投票時間7～20時は不要である。例えば、日の短い時には早く終わるよう柔軟に変更すれば良いと思います。特に田舎の方は考えてはどうか？どうしても間に合わない人は期日前投票を利用する。経費削減になる。
- ・現在社会のさまざまな場面でインターネットの活用が広がっています。本人確認など課題もありますが、若い人中心にスマートフォン・携帯が普及しています。これが実現すれば期日前投票も必要ないし、投票率も飛躍的に向上すると思われず。
- ・投票場所を選べるようにしてほしい。現在の投票場所は家から遠く、車でも行けない場所なので不便。足腰の悪い家族は特に困ります。仕方ないので期日前投票を利用したりしますが、毎回利用して良いものか迷います。指定された投票場所より、学区の小学校(他地区の投票場所)に行けたらいいのにと思います。
- ・投票所にいる職員の方々について、「代休」を使って選挙業務をされているのでしょうか。休日出勤でそれなりのお手当が出るのでしょうか。市議会と県議会と国の選挙が、別々の近い日に行われることがあります。人件費に莫大なお金がかかることが無駄に思えてなりません。
- ・投票したくない候補者に「x」の意思表示ができるようにする。あるいは投票率50%未満の場合は選挙のやり直しを義務付けるなど、民意を知るための制度の在り方をもっと議論しても良いのではと思う。
- ・なんとなく「制度」というと日常とはかけ離れた話のようで、若い世代が他人事に感じるのはそのせいかもしれないと思います。家族や友人との日頃の話題の中に選挙や政治の話が出るような、もっと身近に感じてもらえるようになればいいのにと思います。
- ・若い世代が選挙に行かないので、高齢者中心の世の中になりそうで危惧しています。しかし、若い世代は仕事や子育てで忙しく、選挙に行かない知人も多いので、なんとかしてでも行ってもらいたいです。
- ・家にいながらでもインターネット投票できるシステムを作ってほしい。なんで投票所に毎回律儀に行かせるのかがわからない。律儀に足を運ぶ年寄りも、そのうち足腰立たんようになって、ますます投票率が下がると思うし、そういうことを考える段階に来ているのでは？
- ・投票日については投票所入場券が届くのと掲示板等である程度、今、選挙が行われているとわかります。そこに気づくか気づかないかは、良くしていこうと意識しているかどうかの違いだと思います。選挙日のPRより、教育等が大事だと思います。
- ・候補者の看板やのぼりなどは税金を使っているのも、もっと減らせばいいと思います。数があれば投票率が高くなるわけでもないと思います。本当に市政、県政、国政になるための政治を考えるべきです。
- ・100%国の為役に立つなら必ず投票に行くが、期待を裏切られる行為をされると投票する身としてはバカバカしい。ついでに税金の無駄遣い。マイナンバーを国民に配布するなら、これこそマイナンバーでインターネットで投票できるようにしたら無駄なコストがなくなると思う。
- ・誰がなっても同じという閉塞感がある。最低でも投票率50%以上あってほしい。直近の和歌山市長選挙、和歌山市議会議員選挙(補欠選挙を含む)で、投票率が50%を超えたのは、2003年の和歌山市議会議員選挙。それ以降、50%未満ばかり。マイナンバー制度を活用し、近い将来、インターネット投票できるようになれば、投票率を上げられるのではないかとと思うが。

・棄権は白紙委任と同じなので、それで良いと割り切ってる人以外は投票に行くべき。投票率を上げたいなら「マイナス投票」を導入すればいい。確実に上がるよ。まあ法律改正が必要なので自治体限りで出来ることではないが。

・行く行かないは個人の自由とチェックをしましたが、開催側は行きたいと思ってもらおうアクションが必要だと思います。ちなみに 娘は他府県ですが、仕事が忙しく当日の日曜は完全に無理。期日前投票もよくわからないようで、20歳を超えて2年経ちますが、一度も選挙というものに行ったことがありません。地元以外に就職して、その土地のことがよくわからないというのがありますが、和歌山にもそのような人もいないのでしょうか？選挙に行きにくい方も何か良い方法で参加できる方法があればいいですね。若い方ならスマートフォンやインターネットで出来れば便利ですが…。そうすると本人確認が出来ないから 難しいのかもしれませんがね。

☆お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。今回の調査では「インターネットでの投票を」というご意見を多数いただきました。インターネットの普及により、今後、それらを使った投票が可能となるかもしれませんが、現行法上ではインターネットで投票していただくことは出来ません。市民の皆様の投票機会の拡大を図る方策としましては、期日前投票所の増設を検討しているところです。今回のアンケート調査結果と、皆様から頂きましたご意見を参考に、今後とも投票環境の向上に取り組んでまいります。選挙の際は棄権せず、投票されますようお願いいたします。